



**Q: 男性が女性を介護されていますが、介護や日常生活で大変なことはありますか？**

**A:** 私たちの年代の男性は外で働いていて“台所には入るな”という時代に生まれ育ってきた。いざ、家事をするとすると、料理はわからないし、味付けも好みにするのが難しかった。家内のすることを見てきたからどうにかしてやっているよ。買い物も、女性は細かいところまで気がつくが、男性はそうはいかない。周囲の理解や協力がないと難しいと思う。自分だけ大変と思わないで世間を見るようにしてる。

### ご紹介

☆名前 西ノ海さん

☆介護歴 1年

☆利用者様 要介護1

☆利用者様の訪問看護内容

健康チェック

入浴介助

必要時点滴



**Q: 病院と自宅での生活の違いはありますか？**

**A:** 病院はいつも看護師や医者がいるから安心感はあるね。家では素人だから分からないし不安も大きい。でも家は気楽で自由に何でもできて、人が来て話をしたり、時間も気にしなくて良い。やっぱり家がよかよね。

**Q: 他の援助者がいますか？**

**A:** 時々、兄弟が来てくれる。



**Q: 訪問看護を利用していかがですか？**

**A:** 利用するまで制度を知らなかったのが悔やまれる。訪問看護を利用し本当に素晴らしいと思った。病人を大切にしてくれる。具合の悪いときは特にそう思った。さくらのスタッフだけでなく訪問診療もしてもらえ、24時間体制ができて助かりました。連絡体制も整っていてケアマネやスタッフなどの縦横の関係も素晴らしい。

**Q: 他にどのようなサービスがあったらいいと思いますか？ 要望など**

**A:** 介護保険や訪問看護などの知識がなかった、もっと一般の人もこのような体制があることを知るべきだと思う。ピーアールが足りなかったのかもしれないね。

介護認定については、明らかに状態のいい人、車を運転するような人に介護3がついていたりして、納得できない部分がある。在宅酸素をしていてあまり動けないのに介護1の認定だった。認定についてもっとわかりやすく十分に説明して欲しい。今、虐待の報道などがあるけど、今後もそのようなことがないようにお願いします。

**Q: 家での生活(介護)を続けられるコツのようなものはありますか？**

**A:** 調子の悪いときや台風の時、医師の往診や訪問看護や業者の対応が早いから助かります。昼でも夜でも対応してくれるから介護者のよりどころになっていると思う。そしてこうやって全く知らない人と知り合えた。ふれあいや出会いは大切なこと。いろいろな人に支えられていると思うよ。

### 訪問看護ステーションさくら スタッフより

お話を伺って、男性が介護するということは、介護の面だけでなく、家事全般を任せられ、いろいろな思いをしながら介護をされていることが分かりました。お話を伺った西ノ海さんの声が地域の皆様の共感につながったり、参考になれば幸いです。また、訪問看護ステーションとしてのPR不足を感じています。今後このような広報活動を通してたくさんの方々を知って頂けるよう努力し、在宅生活を支える一員として、利用者様やご家族に学びながら、力となれるように研鑽していきたいと思ひます。

**西ノ海さんご協力ありがとうございました。**